

# 審議会等の会議結果報告書

課所名

生涯学習課

会議名 令和7年度第1回諏訪市子ども読書活動推進委員会

開催日時 令和7年7月15日(火)午後2時30分～3時30分

開催場所 諏訪市図書館 第1会議室

出席者 (出席委員)竹内委員長・矢崎副委員長・八代委員・村瀬委員・両角委員・  
上田委員・飯田委員・加藤委員・立木委員  
(欠席委員)なし  
(事務局)三輪教育長・細野教育次長・小林生涯学習課長・茅野図書館長・宮坂主査  
(オブザーバー)今井教育委員

資料 第4次子ども読書活動推進計画に基づいた令和6年度活動の実施報告等

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

<協議事項>

- (1)「第4次子ども読書活動推進計画」に基づいた令和6年度活動の実践報告
- (2)「子どもが取り組む読書活動の充実」について令和7年度活動の予定

<主要意見>

○おはなし会で、赤ちゃんが絵本をじっと見ていたのでおうちで絵本を読んでいるのか尋ねたところ、保育園でたくさん読んでもらっていると伝えられた。保育園の実践の力に驚いた。

○保育園で初めて絵本に出合う子は多い。そのため「絵本って何？」から始まった子どもに、絵本はめくるもの、楽しいもの、と気づかせるための活動を行っている。また、絵本の読み聞かせを行う時に、保育士による内容の偏りが出ないように、年齢別の絵本リストを作り、活動している。今回配布した絵本リストは、全てのジャンルが網羅できるように選書をしているが、こちらは保育園で読み聞かせしている絵本の本の一部。

○学校で、「調べたい」と思った時、それを支援できる環境があることが望ましい。百科事典や図鑑などのツールの使い方は「つかいこなし講座」で学んでいるので、それらの学習をさらに進めていきたい。「こたえのかべ」(児童が抱いた疑問と、それに対する自分のこたえをカードに書き、壁面に展示する活動)に挑戦できる子は、理論的に考える力が身についているように感じられる。

○市図書館から配本されたバリアフリー図書を用いて学校図書館内に「りんごのたな」(LLブックや大活字本などバリアフリーに配慮した本を集めた棚)を作ったところ、多くの子がそれらの本に興味関心を寄せていた。

○紙芝居「岩波茂雄ものがたり」「信州風樹文庫ものがたり」を、中洲小以外の学校でも上演したい。また、市内小中学校に風樹文庫コーナーを常設し、岩波茂雄や風樹文庫の周知に引き続き取り組んでいく。

○7年度は全ての学校で朝読書の時間が週5回になり、読書時間の確保ができた。一方で、高学年の図書館の時間が減ってしまった学校では、図書館を用いた調べ学習が減ってしまった。

○高校では春と秋の読書週間時、新任教諭や図書委員のおすすめ本を掲示する。また、秋の読書週間の際、全校からリクエスト本の募集を行い、蔵書して欲しいタイトルを募る。同級生や先生がすすめる本は、司書のおすすめとは違った魅力があるようで、良く貸し出されている。

○諏訪市の図書館教育委員会では、「読書会」「朝読書」「みんなで本を読む日」の3つを重点活動とし、市内10校で取り組んでいる。テーマを共有して活動することにより、多くの学校で力を入れて取り組まれている。